

まちづくりの目標	4	暮らしにやさしく笑顔があふれるまち
政策	3	誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちにします
施策	9	市民の健康を守るまちにします
		担当部(統括部) 保健福祉部

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿						
市民や事業者が自主的に健康管理を行い、生活習慣病などの予防や疾病の早期発見・早期治療が進んでいます。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	自主的な健康管理や健診の必要性の認識が進んでいる	多くの市民が健診を受けて、受診率が向上している	健診を受け、結果に基づく指導や精密検査を受けている市民が徐々に増えている	健診を受け、結果に基づく指導や精密検査を受けている市民が増えている	特定健診や各種がん検診の受診率が向上し、特定保健指導対象者が減少している	特定健診や各種がん検診の受診率が向上し、特定保健指導対象者がより減少している
実績	目標の姿の実現まで至っていない					
健康づくりをめざして活動する自主グループや団体が増加し、交流も広がっています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	自主的に健康づくり・介護予防に取り組む機運が高まりつつある	自主的に健康づくり・介護予防に取り組む機運が徐々に高まっている	自主的に健康づくり・介護予防に取り組む機運が高まっている	自主グループ間の交流やスキルアップが盛んになっている	健康づくり・介護予防に取り組む団体や自主グループ活動が積極的にになり、交流が行われている	健康づくり・介護予防に取り組む団体や自主グループ活動が積極的にになり、交流が頻回に行われている
実績	目標の通りの姿を実現できた					

実現している姿を確認する指標											
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
特定保健指導対象者率(国民健康保険の加入者)	目標	—	—	—	—	13.0%	12.5%	※前期終了年度までの目標値は平成24年度で策定の次期「特定健診等実施計画」で決定			10.0%
	実績	—	15.3%	13.9%	13.6%						
各種がん検診受診率(胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がん)	目標	—	—	—	—	15.0%	20.0%	25.0%	30.0%	35.0%	50.0%
	実績	10.5%	9.8%	12.3%	12.9%	13.7%					
各種予防接種率(ポリオ、BCG、MR(Ⅰ・Ⅱ期)、DPT(Ⅰ・Ⅱ期))	目標	—	—	—	—	83.0%	85.0%	88.0%	89.0%	90.0%	95.0%
	実績	79.8%	81.7%	80.2%	81.3%	81.2%					
健康づくり自主グループの数	目標	—	—	—	—	35グループ	36グループ	37グループ	38グループ	40グループ	50グループ
	実績	22グループ	28グループ	31グループ	34グループ	37グループ					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎地域との連携による健康づくりの推進						平成25年度事業費計 43,616千円
地域の組織や団体、健康づくり自主グループと連携しながら、健康づくり運動や食育の取組みを推進します。						
平成25年度事業	介護予防普及啓発事業1,224千円・地域介護予防活動支援事業350千円(高齢介護課) 健康せつつ21推進事業9,056千円(保健福祉課) 保健施設事業(保健衛生普及費)32,986千円(国保年金課)					
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	健康づくり自主グループ交流会の支援	大阪府内の自主グループ交流会に参加できるように支援	大阪府内の自主グループ交流会に参加できるように支援	大阪府内の自主グループ交流会に参加できるように支援	大阪府内の自主グループ交流会に参加できるように支援	市内の健康づくり自主グループ交流会を自主運営して開催できるように支援
取組実績	関係団体と連携を図り、健康づくりグループ交流会(1回)を開催、参加グループが増加しているため、今年度より開催時間を拡充した。					
成果	健康づくりグループ交流会において、他のグループの前で活動発表する機会がある事を意識してもらうことで日々の活動意欲向上につながった。また、企画運営に関して、いきいき体操の会を中心とした健康づくりグループの自主性の向上が見られた。					
次年度課題	現在の発表形式での交流会のメニューに加え、参加者全員で取り組めるような健康づくりプログラムが実施できないか検討を行う。また、新たな健康づくりグループの参加促進を図る。					
計画	健康づくり推進リーダー養成講座の開催(年1回)	健康づくり推進リーダーのスキルアップ講座の開催	健康づくり推進リーダー養成講座を開催し、新たなリーダーグループを育成	新たな健康づくりリーダーグループが地域で活動できるように支援	健康づくり推進リーダーが地域で活動できるように支援	健康づくり推進リーダーが地域で活動できるように支援
取組実績	食育推進リーダー養成講座を4回開催し、19人が受講した。					
成果	食育の普及活動を推進するために、食育推進リーダーを養成した。					
次年度課題	食育推進リーダーが自主グループとして継続して活動していく方法を検討する。					
計画	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の支援	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の支援の拡充	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の支援の拡充	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の支援の見直し	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の支援	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の支援の見直し
取組実績	関係団体と連携を図り、健康づくりグループ交流会(1回)を開催、参加グループが増加しているため、平成23年度より開催時間を拡充した。また、新たに健康づくりをテーマとした研修会(1回・91人参加)を開催した。					
成果	健康づくりグループ交流会において、他のグループの前で活動発表する機会がある事を意識してもらうことで日々の活動意欲向上につながった。また、企画運営に関して、いきいき体操の会を中心とした健康づくりグループの自主性の向上が見られた。					
次年度課題	現在の発表形式での交流会のメニューに加え、参加者全員で取り組めるような健康づくりプログラムが実施できないか検討を行う。また、新たな健康づくりグループの参加促進を図る。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	市民健康まつりの開催	市民健康まつりの開催	市民健康まつりの開催	市民健康まつりの開催	市民健康まつりの開催	市民健康まつりの開催
取組実績	市民健康まつりを11月に保健センターで開催し、約2,000人の参加があった。					
成果	参加団体の展示や健康相談等を通して市民の健康づくりの意識の涵養を図ることができた。					
次年度課題	介護の日など同日に行われる市のイベントとの調整を図る。					

◎保健事業の充実・拡大	平成25年度事業費計 137,394千円
-------------	-------------------------

特定健診、各種がん検診、歯科健診などの内容の充実や受診機会の拡大を図り、受診率を高め、疾病の早期発見・早期治療を行います。また、健診後の健康相談や個別指導などの充実を図り、日常生活の中で適切に健康づくりを行うことができるように支援します。

平成25年度事業	特定健診・特定保健指導事業1,490千円・がん検診事業38,138千円・歯科健康診査事業32,310千円(保健福祉課) 保健施設事業(特定健康診査等事業費)65,456千円(国保年金課)
----------	--

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	一定の節目年齢対象者に自己負担金無料クーポン券を活用した健診受診勧奨を開始	一定の節目年齢対象者に自己負担金無料クーポン券を活用した健診受診勧奨を実施	一定の節目年齢対象者に自己負担金無料クーポン券を活用した健診受診勧奨を実施	一定の節目年齢対象者に自己負担金無料クーポン券を活用した健診受診勧奨を実施	一定の節目年齢対象者に自己負担金無料クーポン券を活用した健診受診勧奨を実施	健診受診状況を確認し、健診受診勧奨方法を検討
取組実績	40歳以上で節目年齢の方に胃・大腸・肺がん検診の自己負担金無料のクーポン券を特定健診の案内に同封し発送した。					
成果	各種がん検診の受診率が平成22年度より1%上がった。					
次年度課題	節目年齢の受診率が伸びており、継続して節目年齢の方への無料クーポン券を活用した受診勧奨を継続し、検証する。					
計画	成人歯科健診を節目年齢対象者以外は有料とし受診勧奨。妊婦歯科健診の開始	成人歯科健診を節目年齢対象者以外は有料とし受診勧奨。妊婦歯科健診の実施	成人歯科健診を節目年齢対象者以外は有料とし受診勧奨。妊婦歯科健診の実施	成人歯科健診を節目年齢対象者以外は有料とし受診勧奨。妊婦歯科健診の実施	成人歯科健診・妊婦歯科健診の評価・検討	成人歯科健診・妊婦歯科健診の評価・検討
取組実績	成人歯科健診については、節目以外の方は有料となったので受診率は1.2%低下した。妊婦歯科健診受診券を母子健康手帳別冊に追加した。					
成果	妊婦歯科健診を母子健康手帳別冊に追加し、24.4%の方が受診された。					
次年度課題	妊婦歯科健診の受診率の向上を図る。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	健診結果がハイリスク基準以上の人に個別指導	健診結果がハイリスク基準以上の人の指導方法を評価・検討	健診結果がハイリスク基準以上の人へ検討した指導方法で実施	健診結果がハイリスク基準以上の人へ個別指導を実施	健診結果がハイリスク基準以上の人の指導方法を評価・検討	健診結果がハイリスク基準以上の人の指導方法を評価・検討
取組実績	健診結果により早期受診が必要な方に電話や面接、訪問を行った。					
成果	ハイリスクの方139人に受診勧奨を行った。					
次年度課題	ハイリスクの方への受診勧奨を行い、疾病の重症化を防ぐ。					
計画	要精密検査判定者の精密検査受診勧奨を行い、結果を把握	要精密検査判定者の精密検査受診勧奨を行い、結果を把握	要精密検査判定者の精密検査受診勧奨を行い、結果を把握	要精密検査判定者の精密検査受診勧奨を行い、結果を把握	精密検査受診状況の評価・検討	精密検査受診状況の評価・検討
取組実績	がん検診の要精密検査判定の方で、精密検査未受診者に受診勧奨を行った。					
成果	受診勧奨を行い、結果の把握に努めた。					
次年度課題	精密検査の必要な方には必ず受診してもらうようにする。					
計画	骨密度測定を通年実施とし、前立腺がん検診を開始	各種健診の評価・検討	各種健診を評価・検討した結果を生かした検診方法で実施	各種健診の実施	各種健診の実施	各種健診の評価・検討
取組実績	骨密度測定は保健センターに機械を常設することで、通年で検査が可能になった。また、前立腺がんを特定健診と同時に受診できるように開始した。					
成果	骨密度測定は、バス検診(年2回)だったものを通年とし、2008人の受診者があった。前立腺がん検診は853人の受診者があった。					
次年度課題	—					

○防疫施策の充実	平成25年度事業費計 200,562千円
----------	-------------------------

感染症に関する啓発、予防接種の積極的な推進など防疫施策の充実を図り、保健所や医師会などと連携し、健康危機管理の観点に立った即応体制の整備に取り組みます。

平成25年度事業	感染症予防事業200,562千円(保健福祉課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	定期予防接種に加え、新たに子宮頸がん予防ワクチン、ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用一部助成を開始	定期予防接種と子宮頸がん予防ワクチン、ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用一部助成を実施。麻疹・風疹混合ワクチンの3・4期は平成25年3月末で終了	定期予防接種と子宮頸がん予防ワクチン、ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用一部助成を実施	定期予防接種と子宮頸がん予防ワクチン、ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用一部助成を実施	定期予防接種と子宮頸がん予防ワクチン、ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用一部助成を実施	定期予防接種と子宮頸がん予防ワクチン、ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用一部助成を実施
取組実績	子宮頸がん予防ワクチン等の接種費用の一部助成を開始した。					
成果	子宮頸がんワクチンは、394人(延べ903人)、ヒブワクチンは、664人(延べ1,455人)、小児用肺炎球菌ワクチンは、742人(延べ1,550人)が接種した。					
次年度課題	—					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	定期的に予防接種検討委員会を開催	定期的に予防接種検討委員会を開催	定期的に予防接種検討委員会を開催	定期的に予防接種検討委員会を開催	定期的に予防接種検討委員会を開催	定期的に予防接種検討委員会を開催
取組実績	次年度の予防接種に向け、予防接種検討委員会を開催した。					
成果	予防接種検討委員会を開催し、次年度の予防接種の接種体制について協議を行い、接種準備を進めた。					
次年度課題	子宮頸がん予防ワクチンを接種できなかった高校1年生に対して、次年度に向けて接種機会が設けられたため、受診勧奨の方法について検討する。					
計画	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施
取組実績	新たな感染症の発生がなかったため、感染症対策委員会の開催はなかった。					
成果	—					
次年度課題	—					

○保健体制の機能強化	平成25年度事業費計 42,042千円
------------	------------------------

保健所、保健センター、医師会、歯科医師会などとの連携と役割分担のもと、総合的な健康管理や健康増進機能の強化と体制の整備に取り組みます。

平成25年度事業	健康せつつ21推進事業9,056千円(保健福祉課) 保健施設事業(保健衛生普及費)32,986千円(国保年金課)
----------	---

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	三島保健医療協議会や茨木保健所運営委員会への参画、摂津市健康づくり推進協議会の開催	保健所、三師会などの関係機関と連携し、「健康せつつ21」の取組みを評価	新「健康せつつ21」健康づくり計画を策定	「健康せつつ21」健康づくり計画に基づく各種保健事業・健康づくり事業の実施	「健康せつつ21」健康づくり計画に基づく各種保健事業・健康づくり事業の実施	「健康せつつ21」健康づくり計画に基づく各種保健事業・健康づくり事業の実施
取組実績	三島保健医療協議会や茨木保健所運営協議会に参画した。また摂津市健康づくり推進協議会と部会を計4回開催し、健康づくりの取組みの報告・評価を行った。					
成果	三島保健医療協議会や茨木保健所運営委員会に参画し地域保健医療の推進を検討した。また摂津市健康づくり推進協議会を開催し、健康せつつ21の取組みの評価として、「健康せつつ21後期評価報告書」を策定した。					
次年度課題	次期の健康せつつ21の策定に向け、健康せつつ21の最終評価を行う。					
計画	健康づくりの拠点として摂津市保健センター事業の充実を図り、世代別エクササイズ講座を開催	摂津市保健センター事業の評価・検討	摂津市保健センター事業の充実を図るよう検討した事業を実施	摂津市保健センター事業の充実を図るよう検討した事業を実施	摂津市保健センター事業の評価・検討	摂津市保健センター事業の評価・検討
取組実績	世代別エクササイズ講座を10回開催し399人の参加があった。					
成果	講座を通して、運動習慣を身に付けてもらい、健康づくりの意識の涵養を図ることができた。					
次年度課題	男性の参加者が増加する方法を検討する。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催
取組実績	11月に19団体の参加のもと保健センターで開催し、約2,000人の参加があった。					
成果	参加団体の展示や健康相談等を通して市民の健康づくりの意識の涵養を図ることができた。					
次年度課題	介護の日など同日に行われるイベントとの調整を図る。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

健康づくり自主グループの活動の促進		第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
健康づくり推進リーダー養成講座や介護予防講座などを開催し、その修了者が健康づくり活動を継続できるように支援します。また、グループの交流会を開催し、活動の活性化を促進します。		平成25年度事業費計 10,630千円					
平成25年度事業	介護予防普及啓発事業1,224千円・地域介護予防活動支援事業350千円(高齢介護課) 健康せつ21推進事業9,056千円(保健福祉課)						
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度	
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度	
計画	健康づくり推進リーダー養成講座の開催(年1回)	健康づくり推進リーダーのスキルアップ講座の開催	健康づくり推進リーダー養成講座を開催し、新たなリーダーグループを育成	新たな健康づくりリーダーグループが地域で活動できるように支援	健康づくり推進リーダーが地域で活動できるように支援	健康づくり推進リーダーが地域で活動できるように支援	
取組実績	食育推進リーダー養成講座を4回開催し、19人が受講した。						
成果	食育の普及活動を推進するために、食育推進リーダーを養成した。						
次年度課題	食育推進リーダーが自主グループとして継続して活動していく方法を検討する。						
計画	修了後のグループ化を意識した講座の開催	修了後のグループ化を意識した講座を開催するとともに、グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を実施	修了後のグループ化を意識した講座を開催するとともに、グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を実施	修了後のグループ化を意識した講座を開催するとともに、グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を実施	修了後のグループ化を意識した講座を開催するとともに、グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を実施	修了後のグループ化を意識した講座を開催するとともに、グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を実施	
取組実績	はつらつ元気アップ教室(全8回講座)の開催会場を5つに増やし、それぞれの地域で実施することで、参加しやすくグループ化を促した。また、教室開催中からいきいき体操の会との連携が取れるように教室の内容を変更した。						
成果	平成23年度に開催した5会場のうち4会場で自主グループが誕生した。						
次年度課題	誕生した自主グループがいきいき体操の会に頼りきりにならないよう引き続き支援を行う必要がある。						